

日米高校生サミット in 陸前高田2015

タイトル	日米高校生サミット in 陸前高田2015
日時	2014年7月11日(日)
会場	陸前高田市コミュニティホール
内容	<p>2014年は準備を進めていたものの、台風の影響で中止いたしました。</p> <p>今年のサミットは5月に完成したばかりの同市コミュニティホールで開催されました。</p> <p>高田高校、大船渡高校から計25名の参加がありました。</p> <p>今回のテーマは「ノーマライゼーションという言葉のいらぬまちづくり」であり、ノーマライゼーションとは、2011年震災からの復興において、あらゆる人々にとってインクルーシブ(包括的)であることを意味します。</p> <p>陸前高田市は以前と同じ社会を再現するのではなく、一からの社会づくりに取り組んでいます。</p> <p>米国の高校生は日本語で、日本の高校生は英語でプレゼンテーションを行い、互いに助け合って発表する姿には参加者一同、感銘を受けました。提言には実用的なものが多く並び、ドアをスライド式自動ドアにしてはどうか、建物に入る階段をスロープにしてはどうか、薬局の場所が道を挟んで病院の前にあるが病院の隣にしてはどうか、老人、子ども、車いすの人々が通るため店内の通路を広げてはどうか、等が挙げられました。</p> <p>本サミットで議論されたアイデアは陸前高田市に提出されます。</p> <p>また新しいつながりができたのではないかと思います。</p> <p>※一部ははなそう基金様の文章を引用させて頂きました。</p>
主催 共催 後援	主催: NPO法人陸前高田市支援連絡協議会AidTAKATA 共催: 国際協力基金、はなそう基金 後援: 陸前高田市教育委員会、陸前高田市

日米高校生サミット in 陸前高田2015

